

新年のごあいさつ



登別市議会議長
天神林 美彦

新年あけましておめでとうございます。
年頭にあたり登別市議会を代表し、市民の皆さまに謹んでご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、本市議会では、議会基本条例の遵守度と目標達成度を向上させるためのチェックシートや議員自己評価表の導入など、議会基本条例を常に意識した議会改革を進めてまいりました。
特に本年度は、総務・教育、生活・福祉、観光・経済の各常任委員会における年間活動計画の実効性をさらに高め、政策提言へとつなげることを目的に、重点活動テーマをそれぞれ定め、これまで以上に活発な議会活動を展開してまいりました。
今後におきましても、市民の皆さまからいただいたご意見やご提案などを市政に反映できるように活発な議論を重ね、市議会の改革・活性化に取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。
結びに、市民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せにみちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、幸多き新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
昨年は、市民の皆さまと共につくり上げたまちづくりの基本的な方向性を示す『登別市総合計画第3期基本計画』（平成28年度～平成37年度）の初年度として、総合計画基本構想に描いたあるべきまちの姿に近づけるよう、政策、施策の推進に取り組んでまいりました。
中でも、福祉の分野におきましては、4月に『登別市ぬくもりある手話条例』を施行し、手話の推進を図るとともに、11月に道内では初となる鳥取県との『あいサポート運動』の協定を締結するなど、障がいのある方もない方も、より暮らしやすい共生社会に向け着実に取り組みを進めております。
教育の分野におきましては、本年、鷺別小学校の新校舎が完成し、供用を開始します。その他の学校施設の耐震化と併せ、子どもたちが安心して学び育まれる環境の整備に努めてまいります。
また、東京オリンピック・パラリンピックなどの開催を契機に観光客の増加が見込まれることから、市民の皆さんと共に魅力ある全市観光に向けた取り組みを進めてまいります。
結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、佳き年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。